



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通6-2 ザ・36・メイファイ1F2号室
tel.024-546-3793 fax.024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30
tel.024-523-3811(代) fax.024-523-0375
HPアドレス http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html

■会長:黒羽 好夫 ■幹事:高橋 勇雄
■会報委員長:金子 親房 ■副委員長:鈴木 光一 ■委員:橋脇 英行・丹治 智幸・丹治 洋子



地域を育み 大陸をつなぐ

2010年-2011年RIテーマ

第47回例会 平成 23年 6月 22日 (水) サンパレス福島
■メークアップ/14名 ■修正/69名 ■修正率/100% ■会員/69名 ■出席/55名 ■出席率/79.71%

本日のプログラム

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 開会点鐘 | 7 会長挨拶 |
| 2 開会の言葉 | 8 ガバナー祝辞 |
| 3 国歌斉唱・ロータリーソング | 9 東日本大震災義援金の贈呈 |
| 4 物故会員東日本大震災被災者への黙祷 | 10 創立40周年記念事業発表 |
| 5 お客様の紹介 | 11 クラブ内 感謝状贈呈 |
| 6 実行委員長挨拶 | 12 閉会の言葉 |
| | 13 閉会点鐘 |



6月の誕生日花:バラ

今月・来月のプログラム

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 6月29日(水) 会員スピーチ (会長・幹事挨拶) *バッチ交換 | 7月13日(水) 根本和彌ガバナー公式訪問 |
| 7月6日(水) 新会員入会式 クラブ協議会 (前年度各表彰) | 7月20日(水) クラブ協議会 |

◆会長挨拶◆ 黒羽 好夫 会長 「ロータリーの原点に帰ろう！」



本日は、大橋廣治 RI 第 2530 地区ガバナー、並びに佐藤信博 第 2530 地区ガバナー補佐にご臨席を賜り、さらに 4 名の会員の皆様、そしてロータリー家族の皆様をお迎えして、ここに記念の例会をできることに感謝致します。そして、東日本大震災によって被災されました多くの皆さん、現在、福島原発事故により塗炭の苦しみの中におられる皆さんが一日でも早く安心して生活できる日をお祈り申し上げます。当クラブは、今から 40 年前の昭和 46 年 3 月 31 日に、福島ロータリークラブ様を親クラブとして、大原菅一郎特別代表の下、創立会員 30 名をもって福島市内 4 番目のクラブとして誕生致しました。認証状伝達式は、昭和 46 年 4 月 8 日で行われました。岸本淳一初代会長の時代から、地域社会への奉仕活動はもちろん、ロータリー財団、米山記念奨学会等のロータリープログラムにも熱心に取り組んで参りました。

会員増強にも励み、現在は 69 名の会員が奉仕と親睦を旨として、ロータリー活動を実践しておりますが、当クラブは、何かを成し遂げる時は全員一致団結することでも有名でございます。これは、ひとえにチャーターメンバーを始めとする先輩諸氏のお力と感謝すると共に、この歴史を次の世代にも引き継ぐ所存でございます。今年度は、記念すべき 40 周年の年に RI 第 2530 地区のガバナーとして、当クラブより大橋廣治ガバナーが誕生し、地区内の皆様の多大なご支援ご協力をおもちまして、地区内各種行事を始め地区大会も成功裏に終わることができました。ホストクラブとしての責任を果たすことができましたのも、第 2530 地区の皆様のご協力のおかげと感謝しております。今年度は、レイ・クリンギンスミス RI 会長のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」の下、地域へ、そして、世界へと奉仕活動を広げて参りました。地域の小学校へ図書を寄贈、マイナーリーグの子ども達に活躍の場を提供、子ども達と一緒に防火啓蒙活動、若い世代への奨学金制度を創設、さらにはラオスの教員養成プロジェクトへの支援等を行って参りました。これは「ロータリーの原点に帰ろう！」を今年度のスローガンとした、当クラブの奉仕の実践でございます。

本日の記念例会を契機として、福島南ロータリークラブの新しい歴史を作るため、会員一同精進を重ねて、ロータリーの奉仕の実践を続けて参ります。どうか皆様、今後とも ご指導ご鞭撻ご協力のほど、宜しくお願い致します。

◆実行委員長挨拶◆ 富田 健三郎 会員



この 1 年、「入って学び、出でて奉仕」と言いますが、入って学んで出でて学んだ激動の 1 年でした。本来であれば、賑々しく記念例会を開催するところですが、震災が起こったことにより、肅々と、同じ羊水で育った仲間と記念例会を開くこととなりました。また、震災発生により、地区のことでガバナー・ガバナー補佐と一緒に頂き、いろいろなことを学びました。特に、相馬市の立谷市長から学んだ事がありました。綺麗事をどれだけ出来るかということでした。立谷市長によると、磯辺地区の孤児となった子ども達に市長が「君たちが、生涯困らないように奨学金で勉強出来るようにするから安心するように」と伝えると、子ども達は「磯辺地区で学びます」と断ったそうです。これこそ、想いやり・情だと思います。私は、南ロータリーは情を盾にして、他のクラブから当てにされるクラブとしたいと思います。そのためは、皆さまのご協力が必要です。本日の記念例会を開くことが出来たことは、本日まで出席のお一人でも欠ければ出来ませんでした。心から、感謝を申し上げます。

◆ガバナー祝辞◆ 大橋 廣治ガバナー



昭和 46 年 3 月 26 日福島原発第一号機が運転された記念すべき日。その 5 日後、3 月 31 日、福島南ロータリークラブ第 1 回点鐘。以来 40 年、この歴史の皮肉を感じます。今から 40 年前、福島ロータリークラブをスポンサーに戴き、福島南ロータリークラブという小さな木を植えて頂きました。早く大きくなるようにと肥料をやってくれる方がいました。日照り続きだと水をくれて頂きました。また、今年は虫が発生しそうだと消毒して頂きました。丹精込めて、心を込めて、福島南ロータリークラブを育て参りました。本日ここに、大輪の花を咲かせたのであります。ご家族共々、この喜びを分かち合いたいと思います。一昨年、私は、ただ一点クラブのためを思い、ガバナーをお引き受け致しました。今まで、2 年間全力で走って参りました。その間、鞭を減らして頂きました。大きな汗を掻いて頂きました。中には涙を流して頂きました。今日、素晴らしいクラブに成長、発展されたろうと思っています。今では、2530 地区を代表するクラブへと成長されたと思っています。素晴らしいクラブとなりました。

孔子は「四十して迷わず」と言っています。何ら迷うことはない。是非、この 40 年を契機とし、通過点として、更なる発展を祈念するものです。自信を持って奉仕活動を進めて行くことを全員で誓い合いたいと思います。「頑張ろう！ロータリアン！！」

◆東日本大震災義援金 贈呈◆



大橋廣治 RI 第 2530 地区ガバナー
黒羽好夫 会長
富田健三郎 実行委員長

◆創立 40 周年記念事業発表◆

- 鈴木 恒昭 記念事業委員長
- ①福島南ロータリークラブ 奨学金制度
 - ②福島南ロータリー文庫の寄贈
 - ③東南アジアへの教育支援事業
- ◆クラブ内 感謝状◆ 黒羽 好夫 会長
- ①創立会員への記念品贈呈
 - ②歴代会長、幹事への感謝状・記念品の贈呈
- ◆Friendship Party◆ 伊藤弘子運営委員長



◆スマイリングボックス◆

- 創立 40 周年を記念して 黒羽 好夫 会長
還暦祝いのお礼として 高橋 勇雄 幹事
ゴルフにてお世話になり、有難うございます。 植木 洋司(史子) 会員
- 40 周年祝って 金子 興宏 会員
創立 40 周年を記念して 斎藤 浩 会員
祝 創立 40 周年 佐久間 功 会員
創立 40 周年記念例会を祝って、黒羽杯取次優勝。 丹治 洋子 会員
傘寿の祝いの御礼 宍戸 英男 会員
40 周年震災の分楽しまししょう。鈴木 光一 会員
創立会員記念の御礼として 鈴木 恒昭 会員
40 周年おめでとうでございます。役員の皆様お世話様でした。 丹治 洋子 会員
40 周年記念例会祝賀会 本日に皆様ご苦労様でした。 富田 健三郎 会員
- 40 周年例会おめでとう！ 林 克重 会員
傘寿のお祝い有難うございます。三浦 善治 会員
創立 40 周年記念品を受贈して 武藤 正隆 会員
スマイル 127,000 円 累計 1,785,501 円
財団・米山 91,000 円 累計 1,830,000 円

～ 私の職業の目的 ～ 藤橋 進一郎 会員

4 代続いた守りの姿勢からの脱却と次世代への技能技術の伝承に付け地域社会の発展に寄与すること。
一編集後記一
今年度最後の編集でした。皆様のご協力とご指導で務めることが出来ました。感謝します。(丹治ト)